
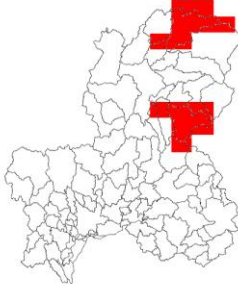


ヒカゲハリスゲ	<i>Carex onoei</i> Franch. et Sav.	絶滅危惧I類
		カヤツリグサ科
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	写真(清水英彦)
形態の特徴	叢生し、基部の鞘は淡褐色。花茎は著しくざらつく。葉の幅は1-1.5mm。小穂は1個頂生し、雄雌性で6mm以下、雄花部は雌花部よりも短い。雄鱗片は濃褐色、鋭頭。雌鱗片は濃褐色、鋭頭～鋭頭短芒端、果胞より短い。果胞は楕円形～卵形、無毛、細い脈が多数あり、口部は凹形～浅い2齒。果実の形状はサトヤマハリスゲに似るが、脈は明らかに細い。柱頭は3岐。	
生態的特徴	ブナ帯の溪畔林内に生育する多年草。	
分布状況	北海道・本州(近畿以北)に分布し、岐阜県では県北に分布する。	
減少要因	開発に伴う山林伐採、砂防工事、土石流等による斜面崩壊。	
保全対策	山林の保全。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本眞理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	

文責: 清水英彦